

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 特発性肺線維症における抗線維化薬と肺癌発症リスクの検討 』
研究機関名 東邦大学医療センター大森病院
研究責任者 呼吸器内科 職位・氏名 院内助教・鹿子木拓海

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は特発性肺線維症患者における抗線維化薬と肺癌発症リスクを調べることを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、特発性肺線維症患者の新たな治療につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、肺癌の発症状況等の情報を収集します。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

【試料・情報の取得方法】

対象者:2008年1月～2023年3月までに東邦大学医療センター大森病院

呼吸器内科科において、診断された特発性肺線維症の方

方 法:診療録から抽出したデータを解析します。

抽出項目:

一般情報としては、患者の性別や初診時の年齢、喫煙歴、粉塵やアスベストへの曝露歴を抽出します。

肺に関する情報として肺癌の有無や発症情報、肺癌の診断日、肺癌の種類、肺癌に関する家族歴、間質性肺炎の診断名や病理診断結果を抽出します。

診療の経過に関しては、初診日や最終受診日、そして転帰の情報を抽出します。

薬物治療に関する項目としては、抗線維化薬の使用状況、その開始日、中断日や中断理由、また再開日を抽出します。間質性肺炎急性増悪の発症日を抽出します。

検査結果として、肺機能検査の結果や KL-6、SP-D の血中の間質性肺炎バイオマーカーに関する数値を抽出します。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院 研究代表者:鹿子木拓海 役職:院内助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科に所属する者

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院, 研究代表者: 鹿子木拓海, 役職: 院内助教

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2024年3月31日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科

職位・氏名 院内助教・鹿子木拓海

電話 03-3762-4151 内線 6555